



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 サンワテクノス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 玉木 克也

TEL 03-5202-4011

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

2021年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	70,978	14.8	2,108	134.2	2,195	115.0	1,551	119.7
2021年3月期第2四半期	61,813	8.6	900	1.0	1,020	1.5	705	2.4

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,300百万円 (45.6%) 2021年3月期第2四半期 1,580百万円 (121.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	98.23	
2021年3月期第2四半期	44.75	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	85,924	37,097	43.2
2021年3月期	76,381	35,030	45.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 37,097百万円 2021年3月期 35,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		17.00		17.00	34.00
2022年3月期		17.00			
2022年3月期(予想)				17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,700	10.3	4,200	95.1	4,340	69.0	3,040	70.2	192.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	16,044,000 株	2021年3月期	16,044,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	237,332 株	2021年3月期	267,312 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	15,791,675 株	2021年3月期2Q	15,776,856 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.当社は、2021年11月5日(金)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 仕入、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症が再拡大するなかで、断続的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令され、依然として企業活動、経済活動が抑制される状況が継続されました。一方で、海外経済の回復に伴う輸出の増加や、製造業各社の生産の自動化・高度化への設備投資が積極的に行われたことなどを背景に、景気は持ち直しの動きが続いております。世界経済については、先進国を中心にワクチン接種が進み、中国では好調な輸出を背景に製造業を中心とした景気の回復が継続していましたが、回復ペースはやや鈍化いたしました。欧米では経済活動の制限が段階的に緩和され、景気の回復傾向は維持されております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、半導体関連・自動車関連・電子部品などの市場において設備投資が積極的に行われました。また、半導体をはじめとする部材の供給不足による生産影響を考慮した先行手配などもあり、需要は総じて高い水準で推移いたしました。

このような環境の中で当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高709億78百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益21億8百万円（前年同期比134.2%増）、経常利益21億95百万円（前年同期比115.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億51百万円（前年同期比119.7%増）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、産業機械業界向けの電機品及び制御機器、半導体関連業界向けの電気品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は143億92百万円（前年同期比33.3%増）となりました。

[電子部門]

電子部門では、産業機械業界向け及び自動車関連搭載向けの電子部品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は523億1百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

[機械部門]

機械部門では、半導体関連業界向けの搬送装置の販売が増加いたしました。F P D（フラットパネルディスプレイ）関連業界向け設備機器の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は42億84百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

産業機械業界向けの電機品、制御機器及び電子部品、半導体関連業界向けの電気品及び搬送装置、自動車関連搭載向けの電子部品の販売が増加いたしました。F P D関連業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。この結果、売上高542億22百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益11億87百万円（前年同期比150.4%増）となりました。

② アジア

アジア地域では、産業機械業界向けの電機品及び電子部品、半導体関連業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。F P D関連業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。この結果、売上高228億10百万円（前年同期比35.9%増）、営業利益8億92百万円（前年同期比136.3%増）となりました。

③ 欧米

欧米では、産業機械業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。この結果、売上高30億10百万円（前年同期比23.6%増）、営業利益13百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

④ その他

売上高は3億75百万円（前年同期比21.8%減）、営業利益9百万円（前年同期比62.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、859億24百万円となり前連結会計年度末に比べ95億43百万円増加しました。現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権、商品の増加が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、488億27百万円となり前連結会計年度末に比べ74億76百万円増加しました。支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、370億97百万円となり前連結会計年度末に比べ20億66百万円増加しました。利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ35億79百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には162億8百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は34億62百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益（21億95百万円）、仕入債務の増加（56億4百万円）等による増加がある一方で、売上債権の増加（14億96百万円）、たな卸資産の増加（29億10百万円）等により一部減少したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は90百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出（31百万円）、投資有価証券の取得による支出（22百万円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は71百万円となりました。これは主に、配当金の支払（2億68百万円）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向などを踏まえ、2021年5月7日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年10月29日）公表いたしました「2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,113	16,692
受取手形及び売掛金	36,392	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	37,308
電子記録債権	6,061	7,258
商品	7,935	11,053
仕掛品	0	9
その他	1,036	1,602
貸倒引当金	△109	△111
流動資産合計	64,430	73,813
固定資産		
有形固定資産	2,590	2,552
無形固定資産	170	173
投資その他の資産	9,190	9,385
固定資産合計	11,951	12,111
資産合計	76,381	85,924
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,554	19,579
電子記録債務	12,901	15,950
短期借入金	4,148	4,417
1年内返済予定の長期借入金	500	2,900
未払法人税等	393	571
引当金	—	41
その他	1,873	2,742
流動負債合計	36,372	46,203
固定負債		
長期借入金	2,400	—
長期未払金	199	177
役員退職慰労引当金	104	109
退職給付に係る負債	978	1,002
その他	1,295	1,333
固定負債合計	4,978	2,623
負債合計	41,350	48,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,548	3,549
利益剰余金	23,827	25,110
自己株式	△300	△267
株主資本合計	30,802	32,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,235	4,365
為替換算調整勘定	△7	612
その他の包括利益累計額合計	4,228	4,978
純資産合計	35,030	37,097
負債純資産合計	76,381	85,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	61,813	70,978
売上原価	55,093	62,229
売上総利益	6,719	8,749
販売費及び一般管理費	5,819	6,640
営業利益	900	2,108
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	60	51
仕入割引	17	20
受取家賃	67	67
その他	48	53
営業外収益合計	200	201
営業外費用		
支払利息	26	22
売上債権売却損	15	20
為替差損	27	64
その他	9	8
営業外費用合計	79	115
経常利益	1,020	2,195
特別利益		
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	7	—
特別損失		
会員権評価損	9	—
特別損失合計	9	—
税金等調整前四半期純利益	1,019	2,195
法人税等	313	643
四半期純利益	705	1,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	705	1,551

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	705	1,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,104	129
為替換算調整勘定	△230	620
その他の包括利益合計	874	749
四半期包括利益	1,580	2,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,580	2,300
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,019	2,195
減価償却費	165	152
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△9
受取利息及び受取配当金	△66	△60
支払利息	26	22
為替差損益 (△は益)	△14	△5
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,452	△1,496
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△735	△2,910
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,143	5,604
その他	△533	408
小計	2,144	3,900
利息及び配当金の受取額	66	60
利息の支払額	△25	△22
法人税等の支払額	△489	△475
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,696	3,462
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30	△31
投資有価証券の取得による支出	△24	△22
投資有価証券の売却による収入	17	—
その他	△25	△36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	252	247
リース債務の返済による支出	△59	△50
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△268	△268
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75	△71
現金及び現金同等物に係る換算差額	△104	278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,454	3,579
現金及び現金同等物の期首残高	11,568	12,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,022	16,208

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、買戻し契約に該当する有償支給取引については、従来は支給先から受け取る対価を収益として認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高及び売上原価は7,601百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は0百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	44,578	14,809	1,970	61,358	455	61,813	—	61,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,867	1,979	464	7,311	25	7,336	△7,336	—
計	49,445	16,788	2,435	68,669	480	69,149	△7,336	61,813
セグメント利益	474	377	17	869	24	893	6	900

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額6百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び棚卸資産の調整額△1百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,340	20,670	2,601	70,613	365	70,978	—	70,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,881	2,139	408	9,430	9	9,440	△9,440	—
計	54,222	22,810	3,010	80,043	375	80,418	△9,440	70,978
セグメント利益	1,187	892	13	2,094	9	2,103	5	2,108

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5百万円には、セグメント間取引消去7百万円及び棚卸資産の調整額△2百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	47,561	110.7
アジア (百万円)	15,998	143.7
欧米 (百万円)	1,534	119.4
報告セグメント計 (百万円)	65,094	117.5
その他 (百万円)	262	75.3
合計 (百万円)	65,356	117.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	64,332	151.2	35,960	257.1
アジア	27,833	185.6	15,106	203.3
欧米	2,999	184.8	952	198.1
報告セグメント計	95,165	160.9	52,019	237.5
その他	460	122.5	192	118.9
合計	95,625	160.6	52,211	236.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	47,340	106.2
アジア (百万円)	20,670	139.6
欧米 (百万円)	2,601	132.0
報告セグメント計 (百万円)	70,613	115.1
その他 (百万円)	365	80.3
合計 (百万円)	70,978	114.8

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。